



学校だより

令和 8 年 6 月 30 日
横浜市立権太坂小学校
7 月号

学校教育目標: 友達が好き 自分が好き たくましく伸びる 権太坂の子

夏の実りと願いをのせて

副校長 加藤 義治

6 月は台風や地震といった自然の脅威に見舞われ、多くのご家庭で不安な日々を過ごされたことと思います。また、悪天候の影響で水泳の授業が思うように進まなかったこともありましたが、子どもたちは元気に日々の学びを続けています。

学校 WEB ページでも随時紹介しておりますが、校内では各学年が花壇や植木鉢を活用し、さまざまな植物の栽培に取り組んでいます。1 年生は、水やりのしやすさを工夫しながら、ベランダでアサガオを育て、毎日観察を続けています。2 年生は、ミニトマトやオクラ、ナス、ピーマンを各自持参した植木鉢に苗を植え、日々の世話の積み重ねにより、ぐんぐんと成長しています。加えて、5 月末に植えたサツマイモも順調に根付いてきました。3 年生は理科の学習としてホウセンカを種から、ポットでの育苗を経て大きい鉢へと植え替えています。4 年生は、ヘチマやゴーヤの栽培に挑戦しましたが発芽が難しく、地域の方からいただいた苗を大切に育てています。5 年生は栽培ボランティアの方々のご協力のもと、総合的な学習の時間に米作りに取り組んでいます。6 年生は、昨年度末に定植したジャガイモを活用し、理科の実験を進めています。個別支援級でもサツマイモやミニトマト、ナス、ピーマン、オクラ、ささげなどを栽培しており、花壇のキュウリは間もなく収穫を迎えようとしています。このように、子どもたちは日々、命を育てる体験を積み重ねています。特に 2 年生や個別支援級で育てている野菜は、これから収穫の時期を迎え、育てる喜びとともに、「食べること」とのつながりを実感する機会にもなります。また、夏野菜は強い日差しを浴びて成長するため、β カロテンやビタミン C・E といった栄養を豊富に含んでいます。水分やカリウムを多く含むものが多く、体の熱を外へ逃がし、暑い季節を元気に過ごす助けとなります。野菜は旬の時期に最も栄養価が高く、その時期の体に必要な栄養素が多く含まれていると言われています。子どもたちが野菜や植物に触れる経験を通して、命の大切さや食への関心がさらに深まることを願っています。ご家庭でもぜひ夏野菜を食卓に取り入れ、季節の味わいをお楽しみください。

さて、7 月といえば七夕です。織姫と彦星が年に一度、天の川を渡って出会うという物語は、子どもたちの心を惹きつけるだけでなく、願いを大切に作る気持ちを育んでくれます。私自身も子どものころ、平塚の七夕祭りに出かけるのを毎年とても楽しみにしていました。色とりどりの豪華な飾りやにぎやかな通りに心を躍らせながら、自分の願いごとを短冊に書いた記憶が、今でも温かく心に残っています。昨年の 2 月号でも星座の話題に触れましたが、夜空を見上げると、織姫星のベガと彦星のアルタイル、デネブを結んだ「夏の大三角」のように、遠く離れた星々が線で結ばれて一つの形に見えます。その姿は、人と人とのつながりや思いの広がりを感じさせてくれます。子どもたちが短冊に願いを託し、自分の夢や目標を見つめる時間を大切にしたいと願っています。なお、短冊の色にも意味があり、紫（黒）は学業、青は人間力、赤は感謝、黄色は信頼、白は規律を表すとされています。願いごとを考える際の手がかりとして、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

今週から個人面談を予定しています。この機会を通じて、お子様の成長を共に確認し、今後の学校生活や学びに向けた支援について話し合えることを楽しみにしております。そして、子どもたちが待ちに待った夏休みももうすぐです。お子様が安全で楽しい充実した夏休みを過ごせるよう、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。